

●豊後高田市の肉用牛繁殖放牧の紹介

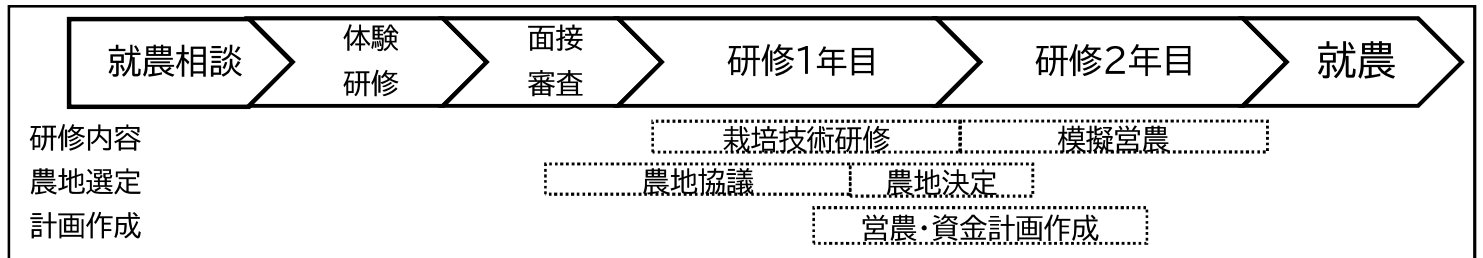
- ・豊後高田市は大分県北東部、国東半島の西側に位置し、穏やかな気候と山・海に囲まれた豊かな自然が特徴です。米、白ねぎ、畜産を中心に園芸品目（花き、野菜）やそば、椎茸の栽培も盛んです。
- ・豊後高田市の放牧は、通常の飼育方法と比較して低コストかつ省力的な生産を実現し、近年注目を集めています。
- ・耕作放棄地の活用、新規就農者の増加により地域農業の再生に貢献しています。



●肉用牛（繁殖・放牧）のスケジュール

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
周年放牧	 牧草管理、飼料調整、給餌、給水、分娩管理、放牧牛管理、清掃、販売											

●就農までの流れ



●経営目標

就農5年目の経営目標	就農10年目の経営目標
<p>品目・規模・収量(単収/10a)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品目:肉用牛繁殖(放牧) ・規模:20頭(10ha) ・出荷:14頭 	<p>品目・規模・収量(単収/10a)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品目:肉用牛繁殖(放牧) ・規模:20頭(10ha) ・出荷:15頭
<p>販売額・所得</p> <p>・販売額 600万円・所得 226万円</p>	<p>販売額・所得</p> <p>・販売額 894万円・所得 367万円</p>
<p>従事者</p> <p>・家族 2人・雇用 0人</p>	<p>従事者</p> <p>・家族 2人・雇用 0人</p>

・規模拡大
・単収増加
・雇用増

※減価償却費は所得に含む
※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

●モデル経営体の紹介

【氏 名】 河村貴美子（43歳）、姜承玄（43歳）
就農7年目（研修期間：H28.9～H29.8）

【経営概要】 黒毛和牛繁殖（放牧） 母牛20頭（8ha）
構成員：家族2名
販路：子牛市場

【メッセージ】

移住体験ツアーで初めて大分に来て、ゼロからのスタートでしたが、まわりのサポートがありここまで成長できました。自分たちで始めてみると、研修中にはなかったトラブルもあり、日々改善に取り組んでいます。



●私たちがサポートします ～技術習得から就農までのサポート体制～

サポートチームによる研修状況確認

【活動】・北部振興局や市役所等によるサポートチームで現地確認を毎月実施

【その他】・肉用牛繁殖（放牧）の新規就農者数（国施策受給者）：5組（9名）



<研修状況巡回確認>



<就農コーチ放牧地>

就農コーチ

高い技術力をもつ生産者がコーチとなり、コーチの放牧地で、実際に携わりながら、生産技術などの方法を学びます。



研修風景

●豊後高田市の支援策

○豊後高田市アグリチャレンジスクール（新規就農コース）※随時募集
研修期間1～2年（研修生1～2組募集（1組2名以内））

【研修期間中の支援】新規就農支援事業

- ・家賃助成事業：研修中の家賃半額助成（補助上限25千円/月）
- ・生活支援事業：研修1年目の生活支援助成（定額25千円/月）

【就農時の支援】

- ・新規就農者自立支援事業：独立自営就農する際に必要な資材等の自立購入費用の一部助成（定額20万円）
- ・その他、経営計画の作成支援、補助事業等

【移住支援】

- ・市内の宿泊施設で”お試し”居住をしながら、体験見極め研修や空き家・市営住宅の見学、移住準備等

【子育て支援】

- ・子育て世帯の引越し費用助成、出産祝い金、市営の無料塾等

●産地が求める人材

- ①独立自営就農の意欲が高い方
- ②積極的・自発的に取り組める方
- ③地域との交流ができる方

（その他要件）

- ・就農予定時の年齢が50歳未満であること
- ・市内に在住して研修を受け、研修終了後、市内で就農、定住すること
- ・研修期間中に最低限必要な生活費があること
- ・経営開始時に必要な資金や労働力を有している、または調達できる見込みがあること

※他にも要件がありますので、詳細は個別にご相談ください。

- ・研修生1～2組募集（1組2名以内）

●問い合わせ先

豊後高田市役所 農業振興課
〒879-0692 豊後高田市是永町39番地3
TEL:0978-25-6243 FAX:0978-24-0250
ホームページ: <https://city.bungotakada.oita.jp>

